

第5回運営推進会議議事録

日時	平成27年12月14日
場所	グループホーム優瑠里
参加者名	東堂（保健センター）、山下（民生委員）、亀井(サロン)、河野正二(推進委員) 保内第二分署職員、スタッフ12名、橘井（管理者）、入居者全員
<p>1. 避難訓練</p> <p>夜間帯、2階居室から出火を想定し、発見・消火・GH駐車場までの避難 緊急連絡網による職員の集合、避難時の介助・協力（近所に住むスタッフのみで途中まで対応）。運営推進委員(地域の方々)は、訓練の様子見学。</p> <p>2. 喉詰り時の対応方法。</p> <p>3. 消防署職員、運営推進委員、夜勤者役、管理者との反省会。</p> <p>（夜勤者役）</p> <p>介助方法が、1階・2階それぞれ分らない。 落ち着いてできなかった。 防火扉の役目をはたせなかった。 目の前のことで一杯いっぱいだった。 指示が安藤まかせになってしまった。 煙を吸われる方がいるのではないかと思った。 1時避難場所のスタッフルーム前のトイレの所から、リビングの方にはみ出してしまう入居者がいた。（長椅子が邪魔になった）</p> <p>（管理者）</p> <p>夜勤者役と打ち合わせしていたが、慌ててしまい火災通報装置ボタンを押し忘れてしまった。</p> <p>（消防署員）</p> <p>火事だと聞いたら不安。その後の声かけがあった方がよい。 居室の戸が開きっぱなし。札を置く・戸を閉める、ダブルの対応ができたのではないか。 普段から緊急時の対応を話すことも大事。 通報をしないと消防署は来ない。通報したら、直ぐにかけつける事ができます。 火が見えたら、緊急通報装置を押して下さい。 自分たちは、3分程でグループホームに着きます。煙を吸わない所で避難していれば、助ける事ができます。防火扉になる扉をしっかりと閉めて、扉の外で待機させておくことが大事です。</p>	

(運営推進委員)

東堂 1階ウッドデッキ外の階段ですが、スロープにできないか。また非常用のライトがあった方が夜間見やすく非難しやすいのではないか。

亀井 9人降ろすのは大変。車イスもあって混雑していた。

河野 廊下があんなに狭いとは思わなかった。

2階から1階へ降ろすのは大変だと感じた。